

さいたま市総合振興計画審議会 第1部会（第6回） 会議録（案）

日時	平成25年10月22日（火）午後2時00分～午後3時30分
場所	ときわ会館5階501会議室
出席者 （敬称略）	〔委員〕計9名 秋元智子／石關精三／猪瀬良一／上田彰一郎／久野美和子／ 作山康／丸山繁子／茂木泰和／吉田貴昭 〔事務局〕さいたま市 政策企画部：江口部長 企画調整課：松井課長／小島課長補佐／松尾係長／富田主査／ 猪狩主査／南主査／池田主任／鈴木主任 〔傍聴者〕0名
議題	1 開会 2 定足数の報告 3 議題 （1）パブリック・コメントの意見について （2）その他 4 閉会
公開又は 非公開の別	公開
配付資料	・次第 ・席次 ・資料 パブリック・コメントに関する意見整理表 ・参考資料1 さいたま市総合振興計画次期基本計画（素案） ・参考資料2 さいたま市総合振興計画次期基本計画（素案）（概要版）
問い合わせ先	政策局 政策企画部 企画調整課 電話 048-829-1035

1 開会

2 定足数の報告

○**司会** さいたま市総合振興計画審議会運営要綱第5条第2項により、本部会の定足数は過半数と定められておりますが、本日の出席委員は、委員総数11名に対し9名となっており、定足数を満たしていることから、本日の部会が成立していることをご報告いたします。

また、中邨委員、森本委員につきましては、ご都合により欠席との連絡が入っておりますので、ご報告申し上げます。

現在のところ、傍聴希望者と報道関係者はいらっしゃいません。

○**作山部会長** はじめに、会議の公開と傍聴の許可について諮りたいと思います。本日は、傍聴者がいらっしゃいませんが、会議は公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○**部会長** ご異議がないようですので、本日の会議は公開としたいと思います。

3 議題

(1) パブリック・コメントの意見について

○**部会長** 8月5日に開催した総会において承認いただきました、次期基本計画の中間とりまとめの素案について、パブリック・コメントを実施しました。

本日は、寄せられた意見の概要や、意見を踏まえた計画の修正案等を事務局より説明していただきます。

(資料に基づき、パブリック・コメントで寄せられた「市民意見の概要」と、本部会で「議論が必要と考えられるポイント」、「意見に対する審議会の考え方」の作成等について事務局から説明)

○**部会長** パブリック・コメントの意見については、審議会として考え方を示す必要がございますので、ただいまの説明の中でご意見のある方はお願いします。

意見概要ではなく、直筆の意見を見ると、気持ちが伝わってくるので大事なことだと思いますが、全体的には、個別具体的な要望が大半を占めているという印象を持つ

ており、これらは全体の戦略や基本的な方針に関わる場合もありますが、多くは、実施計画や具体的な事業に関わることでしょう。市民のみなさまにとっては、基本計画のような大きな話は、生活に密着したものでないので、どうしても分かりにくいようです。それから、重点戦略については、何を選択するかという問題なので、いろいろな意見があって当然だと思います。

それでは、みなさま、ご意見はございますか。

○久野副部長 さいたま市民は元気が良いので、具体的な意見をたくさん出していただきましたが、今後、このパブリック・コメントに対する市の見解をどのように示すのでしょうか。

もう一つ、事務局がこれらの膨大な意見を見て、相反する意見なので検討すべきと感じている点を教えてください。

○事務局 通常のパブリック・コメントでは行政の考え方を公表しますが、今回のパブリック・コメントは、審議会の審議の過程で行っているもので、実施主体は本審議会となりますので、審議会としての考え方を示すこととなります。本日を含めた3つの部会の意見を踏まえて、事務局がたたき台を作成し、次回調整部会でご確認いただいた後、審議会委員のみなさまにお示ししたいと考えています。

それから、パブリック・コメントの意見から見た議論のポイントとしては、例えば、東京オリンピック開催決定を受けての対応、重点戦略の選択の仕方などが挙げられます。このほか、計画に書き込む大事なポイントがあるかどうかを議論していただきたいと考えております。

○部会長 パブリック・コメント制度は本来、市民から意見を聞くだけでもよいという制度ですが、今回は、市民に回答を示すという丁寧なやり方をされるということなので、是非そうしていただきたいと思います。

また、新たに計画に盛り込むこととしては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受けて、具体的にはサッカー競技会場しかありませんが、東京及び隣接するさいたま市にも世界から人が訪れる機会があるでしょう。現在の計画素案中には、都市基盤整備を推進していくという表現はありますが、パブリック・コメントにはより具体的に、市内の駅前が魅力的でないという意見がありますので、世界の人を迎えるような空間の整備も意識して、市内の駅前の顔づくりを多少強調することも考えられます。浦和駅では始めていて、大宮駅では遅れており、岩槻駅では出来つつあるようですので、駅前の話を強調していなかったのが、多少気になっています。

それでは、順番にご意見をいただきたいと思います。

○**吉田委員** さいたま市には、浦和、大宮、さいたま新都心がありますが、一つの大きな「JAPANさいたま」として世界に誇れるように、もう少し都心を整備すべきという印象を受けました。

また、さいたま市としての特徴をもっと集約して打ち出したいと思っており、個人的には、都市近郊に見沼田圃など素晴らしい自然があるところが特徴だとイメージしていましたが、パブリック・コメントから、様々な意見があることが分かったので、もっと大きな視野で検討すべきだと思いました。

○**茂木委員** 約200人の意見のうち、都市基盤・交通の分野への意見が多いようですが、市民はやはり身近なところに関心を持っていて、産業・経済の分野への意見が少ないのは、市民にはイメージしにくいからでしょう。

いずれにしても、すべての意見を見て取捨選択するのは難しいので、正副部長と事務局で全体のバランスを見ながら整理していただくのが良いと思っています。

○**丸山委員** これほどたくさんの意見が寄せられて、この審議会はやりがいのある仕事だと思いました。

パブリック・コメントに関する意見整理表10頁のNo.13に、ゴミの出し方マニュアルの内容は変わったところがないのに毎年発行する必要があるのかという意見がありますが、実際、変わっているからこそ毎年発行しているにもかかわらず、そのことを気づいてもらえていないことは非常に残念なことであり、行政からの発信が市民に行き届いていないことを実感しました。解決策は行政で考えていくと思いますが、行政・事業者・市民が一体となって事業を多くこなしていくことで、こういったことがなくなっていくものと考えます。

○**上田委員** 非常に多くの意見をいただきましたが、行政だけでできるものと、事業者と一緒にやるものと、どれが一番迅速かを考えた上で、例えば、意見が多く寄せられた鉄道などの交通利便や駅周辺のまちづくりなどを、オリンピックで外国の方が来ることも意識しながら、重点的に取り組むと良いと感じました。

○**猪瀬委員** 見沼田圃で畑をやっていますが、岩槻など農家の人と、都市部の人とでは、相容れないところがあって、旧4市がまとまって、一つの理念を持つことは難しいというのが率直な印象です。

それから、ゼネコンで働いているメンバーが言うには、既に資材も職人も不足しているのに、東京オリンピックの開催が決まって、死ぬ気で戦わなければならないということで、今後、都市基盤整備が遅れるのではないかと考えています。また東北の震

災復興のことも考えなければ、本当の意味での地域提携は見えて来ない気がしています。ですから、未来都市を創造するのではなく、地に足の着いた話ができればと感じています。

若い人の問題意識がなかなか見えて来ないので、もっと意見を聞いてみたいと思っています。昼間は働いていて夜しか帰って来ないので仕方ありませんが、彼らにとって、まちのことを考えるのは良いことだと思います。パブリック・コメントの意見にも、若い人の意見は少ないという印象を持っています。

○石関委員 先ほど部会長がおっしゃられたような駅前整備や道路整備のほか、計画素案の環境・アメニティの分野のタイトルにもあるように「人と自然が共生する緑豊かな美しい都市」を目指して、農協として、見沼田圃の整備を強調していきたいと考えます。

○秋元委員 まず、私の専門分野に関係することをお話しますと、意見整理表7頁、重点戦略4のNo.1にある「低炭素」という表現はCではなくCO₂を減らすことからおかしいので市民に受け入れられないのではないかという意見ですが、温室効果ガスは、二酸化炭素のほかにも、メタン、一酸化二窒素など、その多くにカーボンが入っており、全体的にカーボンを減らすことが大事であることを指すので、「低炭素」に暮らすという現在の表現のままが良いと思います。

次に、意見整理表9頁のNo.4にある「地球温暖化対策に関する情報」を省エネルギーやエコライフに関する情報とした方が分かりやすいという意見ですが、温暖化対策としては、ハード面や自動車、交通などの対策もあります。また、IPCCの第5次評価報告のように、国際的な研究機関が先進的な事実を提供していますので、これらを含め、温暖化対策に関するすべての情報を発信するためにも、現在の表現のままが良いと思います。

それから、地球温暖化の一番の原因は自動車であると言われており、自動車の代わりに、公共交通や自転車を利用することが重要なので、さいたま市としては自動車利用を減らし、自動車に頼らないモビリティの開発や道路整備に力を入れるべきだと思いました。

最後に、市民の力を活用するという文章がもっと必要だと感じました。例えば、NPOを増やしたり、NPOの活躍の場をつくることなどが考えられます。これから行政の力だけではやっていけない部分もたくさんありますので、市民の力を利用して、市全体を活性化していくという表現が弱いと思いました。

○部会長 非常に的確なご指摘だと思います。私も、パブリック・コメントの意見によって直接的に大きく変更することはないとしても、199人もの意見をいただいて市

民の意識の高さを感じたので、何も変えなくて良いものかと感じていました。

そこで、第2回総会後の社会の変化を意識して、例えば、さいたまクリテリウムに関連して、市内の自転車道路200キロ整備が発表されたことを受けて、自動車から自転車へ展開する意識が高まってきたとすれば、現在よりもう少し踏み込んで、それを強調することが考えられます。また、東京オリンピックは、直接的には関係ないとはいえ世界的には注目されています。これまで産業・経済の分野では国際化の話をしていましたが、全体的な重点戦略としては国際化の話があまり出ていませんでしたので、パブリック・コメント意見でも多かった「おもてなし」と関連させて駅前の整備や見沼田圃など農地の保全の表現を強化するなど、さいたま市における国際化やおもてなしについて強調することも必要ではないでしょうか。

それから、市民の力の活用については、計画推進の基本的な考え方に関連することで、確におっしゃる通りだと思いました。さいたま市では、市民に自由に活動させてくれますが、なぜか市民にお任せしてしまおうという傾向があつて、市民と協力・連携して政策を進めていく部分が確かに弱いのではないのでしょうか。私自身もNPOで活動して感じていることです。パブリック・コメントにたくさんのご意見をいただいたことを踏まえて、市民と一緒にやっていくことを加えると良いと思いました。

もう一つ、具体的で面白いと思ったのは、意見整理表4頁のNo.5にある、財政変化のシミュレーションができることよという意見です。将来的には人口が減少し、財政が厳しくなり、右肩上がりではない中で考えていくということ、税収の関係もあり難しいとは思いますが、市民にきちんと見せることも大事ではないでしょうか。こうした個別具体的なアイデアもできれば取り入れても良いのではないかと思います。

○副部長 私なりに少し読み込んでみますと、意見整理表1頁のNo.10に、新たに創造することばかり並んでいてスクラップするものが示されていないという意見がありますが、スクラップするものについては、議論してかなり盛り込んであると思います。計画素案中にも持続的に発展する社会という内容があるように、市民生活や産業において、まず動脈でつくり、静脈で廃棄して次を生むという循環型のイメージが伝わっていないことが気になりました。

また、意見整理表の2頁No.18、19に、さいたま市の特徴がないという意見がありますが、審議会ですいぶんと議論してきたつもりです。さいたま市は一見特徴がないと思われがちでしたが、逆に、オープン性があつて近隣とつながっていくというプラットフォームのような特色を生かせば良いと思います。こうした市の特色をもっと生かすために、東京オリンピックを契機として、さいたま市の人材集積、地域資源、首都圏の中での交通の便の良さなどをグローバルに生かせるよう、世界に発信していくようなメッセージを入れられると良いと思います。

それから、重点戦略を絞った方が良いという意見がありますが、バラエティに富ん

だ地域ですので、計画素案にある通り、多様な重点戦略を総合的に推進した方が良いと思います。

○部会長 今回、総合振興計画の策定に関わらせていただいて、他の自治体の基本計画との違いを感じるどころがありました。それは、さいたま市は比較的に民主的で、市民の声を聞いて、市民と一緒に戦略まで考えているということです。本来ですと、総合振興計画は、市長のカラーが出て良いものですので、市長マニフェストと連動させている自治体が大半です。しかし、さいたま市では、民主的な計画を先につくって、その後に、戦略や戦術をマニフェストとし、任意の計画として特徴づけて、基本計画や実施計画に移していくようで、トップダウンでなくボトムアップで計画をまとめていることを実感しています。みなさんのような各分野で活躍されている団体の市民の意見は重要で、この他パブリック・コメントなどで市民の意見を聞きながら、市民が納得いくようにまとめていることが特徴です。一方で、これといって市全体を引っ張るものが薄れてしまうことも事実です。ただ、東京オリンピックをはじめ、最近の変化については、市民の意見も汲んで明記することは必要だと思います。

○副部会長 私もさいたま市の計画の作り方は丁寧で面白いと思います。自転車の活用や太陽光発電の設置など、市の先進的な取り組みを若干盛り込みながら、それをさらに進めるためのキーワードを入れると良いと思います。

もう一つ、この地域は多様性のある元気な市民の意見を取り入れながら、今までのようなトップダウンでなく、市民と行政みんなで協働・協創を目指している先鋭的な地域であって、それを地域の総合的な特色として示すために、そういう環境の中で作られた計画であることを盛り込むと良いと思います。そうすれば、新しい時代のモデル地域であることが分かると思います。

○部会長 ちなみに、各区の将来像については、各區別につくられたものですので、審議会で議論は難しいですね。他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

○副部会長 分かりにくい言葉には、最終的に注釈を入れるのですか。

○事務局 パブリック・コメントには、言葉を分かりやすくしてほしいという意見もありますので、事務局で整理し、それでも分かりにくい言葉については、最終的に用語解説を付けて資料編などに掲載する予定です。

ここで補足しますと、先ほど副部会長から、スクラップするものがないというパブリック・コメントの意見に対して発言をいただきましたが、この基本計画にある施策レベルで、どれをスクラップするかという点と難しいと思いますので、計画推進の基本

的な考え方の第2章「第1節 持続可能な行財政運営の推進」に、「選択と集中」をキーワードとして入れているように、スクラップというよりは、選択と集中により進めていくことになると思います。

○**部会長** スクラップと言っても、急に無くすのではなく、徐々に無くすことが大半で、なかなか該当するものはないかもしれませんので、不要のものや時代にそぐわないものを、違う言葉で代替して表現するということでしょう。

ほかにないようでしたら、基本的には、本日のみなさんのご意見と、現在の計画素案をベースとして、例えば東京オリンピックやさいたまクリテリウムなど、市民の意見の多い部分を含めて、文章を修正できるところは修正し、あるいは強化した方が良いのではないかと考えています。具体的な修正については、正副部会と事務局預かりとさせていただいてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

○**部会長** パブリック・コメントの意見を受けて大きく変えることはなさそうですので、市民の声を意識しながら修正させていただきたいと思います。

ほかにご意見などある方は、是非お願いします。

○**秋元委員** 今回の計画づくりに際しては、パブリック・コメントを実施して、市民の意見を聞いていますが、市長が行っているタウンミーティングを利用し、市民に対して総合振興計画の説明などをする時間があっても良いと思いますが、いかがでしょうか。

○**事務局** 実は、この次期基本計画を作成するに当たり、昨年5月から7月にかけてタウンミーティングを行って、次期基本計画を推進するに当たっての地域の課題、さいたま市の強みや弱み、今後どういう市になっていくべきかなど、総合振興計画をテーマとしてご意見をいただきました。そこでも個別具体的な様々な意見をいただき、その後市民ワークショップを行ってご意見をいただくなどして、それらをまとめて基本計画をつくってきたものと考えています。

○**部会長** 議会制民主主義では、市民の代表である議員の意見だけで十分なのですが、パブリック・コメントやタウンミーティングで、可能な限りいろいろな市民の声を聞いたところは非常に丁寧な進め方だと思います。ただ、市民はどうしても現実の問題に対するニーズが強いため、将来のことを予測した意見は弱くなってしまいますので、そう部分を、特に各団体の代表者などの意見も踏まえながら、戦略などとしてつくる

必要があります。また、例えば、自動車がなければ生活できない市民にとって、自動車を減らすという目標は高すぎてよく分からない場合もあるという中で決めなければならぬところが、この計画の難しさであると思いますが、市民の声を丁寧に聞いている点は非常に評価できると思います。

○**秋元委員** それでは、できれば計画策定後に、タウンミーティングなどの機会を利用しながら、市民に情報提供していただけると良いと思います。

○**事務局** おっしゃる通り、計画をつくってからが大切で、特に今回の計画には「みなさんも一緒に取り組んでみませんか？」という項目を新たに設けていますので、やはり市民のみなさんへの周知は必要だと感じております。

○**副部長** 実際のアクションのための実施計画も合わせて示すと、市民にとっては分かりやすいでしょう。

○**事務局** 現在、実施計画の策定を進めており、基本計画が議会で可決されることが前提になりますが、所管課から事業を集めて検討しているところでございますので、早ければ年度内にパブリック・コメントを実施することになると思います。

また、今回いただいたパブリック・コメントの意見に対しましては、個別具体的な意見に対する回答は、ある程度まとめて、実施計画や各種計画、その時の状況に応じて参考にしていくという回答になると考えています。

○**部長** 基本構想や基本計画は長期計画なので、市民の意見を丁寧に聞くこともできますが、実施計画は短期計画なので、同じ手続きは踏めないのだろうと思います。私の理解では、実施計画に、市長のマニフェストという別の視点で、将来的なことあるいは主張したいことを挙げながら、かつタウンミーティングを行って市民の短期的なニーズも反映し、さらに、もちろん基本計画に沿った重点施策を尊重しながら、短期的な戦術や優先順位を決めて、市民の意見などを参考にしながら進めるということだと思っていますが、よろしいですか。

○**事務局** さいたま市では、市長マニフェストと総合振興計画の体系を分けておられまして、総合振興計画は平成14年12月に議決いただいた基本構想に基づいて、基本計画と実施計画を位置づけるという体系になっています。一方、市長マニフェストにつきましては、任期4年間で重点的に取り組む事業を掲げる「しあわせ倍増プラン2013」を別途作成することとしており、現在パブリック・コメントを実施中ですので、是非ご意見をお寄せいただければと思います。どちらも同じ市の計画ですので、体系

は違ってても整合を取る必要はあり、おそらく実施計画としあわせ倍増プランで具体的な整合を図っていくことになると考えています。

○**部会長** 実は私も、ただいま説明いただいたことを理解するのに時間がかかりました。一般的にはマニフェストが最上位に来て、その下に基本構想や基本計画などが体系づけられるのですが、さいたま市のようなやり方もあるのだと感じていて、市民の意見を何らかの機会には取り入れているので、これも、リーダーシップを発揮できる一つの方法だと思いました。

それでは、ほかにご意見がないようでしたら、「その他」として事務局より何かございますか。

(2) その他

(第3回総会の開催日程について事務局から連絡)

- ・11月11日(月) 午後2時から ときわ会館5階大ホール

○**事務局** 次回につきましては、基本計画の最終とりまとめといたしまして、答申に当たってのご審議をお願いする予定になっております。

○**部会長** では、本日の議事は終了させていただきます。特段、みなさんから何かございますか。

○**吉田委員** 今回のパブリック・コメントの意見にもあるように、市民はやはり東京オリンピックに関心を持っていて、このように社会情勢はどんどん変わっていくと思いますが、この総合振興計画の中でも、東京オリンピックに対応するような方針は出されるのですか。例えば、市民からは、宿泊施設やレジャー施設をつくって、北関東と都心の中継するさいたま市で、宿泊して楽しんでオリンピックに行ってもらいたいという内容がありましたが、そういったことを計画に入れるのでしょうか。

○**事務局** 率直に言って、今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けてどういう対応をとるかは、まだ見えていないところがございます。昨日の第3部会でも様々な意見がありまして、例えば、オリンピックを契機に何かをすることは必要だけれども基本計画に掲載することなのかという意見や、さいたまクリテリウムや世界盆栽大会など市が自ら誘致したものとの力配分を考えた方が良いという意見がありました。さらに、サッカー会場の候補地という段階ですので、どこまで記述できるかは分かりません。ただ、東京オリンピックの有無に関わらず、やるべきことはし

っかりとやらなければならないと思っています。明日も第2部会がありますので、そこでも意見を伺いたいと思います。

○**部会長** 東京オリンピックは日本全体の経済に影響すると思いますが、さいたま市では、さいたまクリテリウムや世界盆栽大会などの大きなイベントの開催が明確になっていますので、何らかの表現を追加、強調する部分があるかもしれません。事務局と相談させていただきます。

○**秋元委員** 今のご意見に関連して、国際化に対応するため、日本人だけを対象にするのではなく、国際的な観光誘致活動を行うなど、今後いかに国際都市を目指していくかが重要ではないでしょうか。せっかく東京に近いのに、市内に宿泊施設がなければ、お金を使ってもらえませんが、これからは国際的に対応できる体制が重要だと思います。

○**丸山委員** 2002年の日韓ワールドカップの際には、世界から人が訪れて、市内の宿泊施設の不足などが問題となりましたので、東京オリンピックに関与することになるのでしたら、当時の関係資料を参考としてご覧になると良いと思います。

○**部会長** 国際化の部分は、確かに強調された方が良いと思います。ほかにはございますか。

○**上田委員** 次期基本計画（素案）34頁の5行目にある「池沼」という言葉は、差別用語でもあるようですので、使用してよいか確認していただきたいと思います。せっかく良い計画をつくったので、こういう点を指摘されないようにした方が良いと思います。

○**部会長** 土地利用や統計学では使用する用語なのですが、行政用語としてはいかがでしょうか。

○**事務局** 確認します。

○**部会長** 誤解を受ける可能性があれば、ほかの用語に代替しても良いと思います。市民の感覚から見た計画づくりですので、きめ細かなご指摘はありがたいと思います。
ところで、先ほどのパブリック・コメントの意見に対する回答については、どのような形で委員に報告されるのですか。

○事務局 調整部会でたたき台を示して、確認いただいた後、委員のみなさまに送付するなどの手続きを取りたいと考えています。

○部会長 分かりました。それでは、本日は、第1部会としては最後の部会となります。6回に渡って長い期間ではありましたが、みなさまのご協力によって非常に楽しい部会になったと思っています。心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

4 閉会

以上